

Lilium tigrinum タイガーリリー [女性の不調と心臓をぎゅっとつかまれた感覚]

Lilium tigrinum Ker-Gawl

BACK GROUND

Lilium tigrinumは、日本、中国、イラン原産のユリ科の花で、人里に近い山野や田の畦などに生える多年草です。オニユリ、タイガーリリーなどと呼ばれています。地下には白色の鱗茎があり、春になると芽を



出して、夏には高さ1～2mになります。鱗茎には側芽が形成されて、新しい球根ができます。この鱗茎は食用になります。茎は紫褐色を帯び、若いときには白い綿毛があります。葉は深緑色の艶があり、葉のつけ根には黒色のムカゴができます。ムカゴは地上に落ちると発芽します。ムカゴから出た根が地中に入り込むと縮み、ムカゴをしだいに土の中に引きずり込んでいきます。花は7～8月に咲き、直径10cm程度の鮮やかな橙赤色の花を、横向きに数個つけます。花びらは強く反り返って、内側には黒紫色の斑点が見られます。花は蜜を分泌し、アゲハチョウなどが蜜を吸いに来て、花粉を媒介しますが、めったに種子は形成されません。

伝統医薬として、子宮疾患、悪阻、心疾患に使われてきました。それは、この植物に含まれるリラゲニン、ジオスゲン、ユッカゲニンなどのサポニン類が豊富に含まれているためです。

ジオスゲンは、植物ホルモン物質としてさまざまな活性があり、抗炎症作用、抗ストレス、抗疲労作用、血中脂質の減少、そしてエストロゲン作用などが知られています。これは、他のレメディの原料では、Agave tquilana, Aletris farinosa, Asparagus, Dioscorea villosa, Paris quadrifolia, Trillium pendulumなどに含まれています。

また、この植物には強心配糖体が含まれていて、心臓に強く作用します。ユリ科の植物には、この強心配糖体を含むものが多く、レメディの原料の中では、

Convallaria majalis, Colchicum autumnale, Galanthus nivalis, Ornithogalum, Sabadilla, Squilla, Veratrum albumなどに含まれています。その他、キンボウゲ科やゴマノハグサ科、トウダイグサ科、キョウチクトウ科、シナノキ科などにも存在し、レメディの原料の中では、Digitalis, Adonis vernalis, Cactus grandiflours, Apocynum, Nerium oleander, Selenicereus grandiflorus, Strophanthus, Heleborus nigerなどがあります。また、動物の中でも、Bufoなどには強心配糖体が含まれています。

この植物は、とくに猫科の動物に強い毒性を示し、猫が少量摂取しただけでも中毒を起こします。摂取後数時間で嘔吐が始まり、不活発になります。摂取量が多ければ、急性腎不全を起こし、死にいたることもあります。

MATERIAL

この植物全体を開花期に採取したもの

FIRST PROVING

E.W.Payne (1867～1870)

MIND

Liliumタイプは、いつも急いでいて一度に何にでも手を出します。いつでも人の中心にいたい願望もっています。注目されないと機嫌が悪くなり、怒り、周囲の人を困らせます。Liliumタイプの人が機嫌を損ねると、周囲の人たちはみなピリピリしてしまいます。精神的に不安定で深く落ち込んでしまいます。道徳心が高いので、自分の取った行動に対して後悔し、必要以上に苦悩してしまいます。特別な理由がなくても落ち込みます。また、日常生活に対して無関心になります。

道徳心が高い反面、性的な衝動が強く、性欲を抑えることによって、欲求不満や怒りに変わっていきます。性欲を強く抑えているときは、とくに急ぐ性格が助長されます。仕事を忙しくして性欲を抑え、その高い道徳心と性的衝動との葛藤から生じる感情から逃げようとしします。

狂気じみた感覚になることがあります。狂気や悪いことが起こるのではないかと、怖れることがあります。他人からの批判に対して非常に敏感です。暖かい部屋の中では、息が詰まってクラクラします。子宮が下に

下りてくる、あるいは引っ張られる感覚があるので、脚を組むことがあります。肉を食べるのが好きです。

AFFINITY

Lilium tigrinum は、主に静脈循環（とくに女性生殖系、心臓、直腸、膀胱）、神経系に親和性をもっています。

CLINICAL APPLICATIONS

臨床では、主に女性の生殖系と心臓に使用します。

■女性の生殖系

- ・子宮脱
- ・外陰部のかゆみ
- ・月経時の不調
- ・月経困難症、月経痛
- ・月経前症候群
- ・性欲亢進
- ・子宮筋腫、子宮内膜炎
- ・膀胱炎：焼けるような、刺すような痛みを伴うことがあります。

■精神神経系

- ・うつ病
- ・統合失調症
- ・頭痛：精神的な興奮で起こります。温かい部屋で悪化し、外気の下で散歩すると楽になります。
- ・めまい
- ・不眠症：頭の中の乱れた感情によって眠ることができません。また、不吉な夢を見て熟睡できないこともあります。

上に書いたようなタイプで、精神の症状と女性器や心臓の症状が併発することがあります。

深いうつ病状態で人から慰められるのを嫌います。不治の病気に対する恐れをもっています。



■心疾患

- ・不整脈、動悸：心臓を万力でぎゅっとつかまれたような感覚になります（Cactus）。動悸がしたり（とくに妊娠中）、胸が重い感覚を伴う心臓部分の痛みを感じることがあります。心臓が冷たい感覚もあります。脈は速く、不整になることがあります。人ごみや暖かい部屋の中では息が詰まります。

■その他

- ・眼精疲労
- ・視力減退、近視性乱視：目の酷使によります。
- ・腱炎：起伏のある場所を歩くのが苦手です。

MODALITY

- 外気、涼しい新鮮な空気の中を歩くこと
- ◀ 暖かい部屋、立ち続ける、慰められること、午後5時～午前8時、怒ったり興奮した後、性交後、左下に寝ること、肢を組むことなど

RELATIONS

- ・ Antidoted by : Platina Helonias, Nux vomica, Pulsatilla, Sepia, Lachesis, Murex と似ている面があるので要注意。

Lithium carbonate 炭酸リチウム Li_2CO_3 [打撲のような痛み]

Lithium carbonate- Li_2CO_3

BACK GROUND

Lithium carbonate は、炭酸リチウムです。分子式 Li_2CO_3 、分子量は73.89。リチウムは、単体では原子量6.941の軟らかい金属で、アルカリ金属に分類されています。すべての金属の中でもっとも軽く、水に浮

きます。鉱物界に広く分布する元素として、ギリシア語の石 lithos に由来して命名されています。

炭酸リチウムは無臭白色の結晶性の粉末です。水にやや溶けにくく、エタノールまたはエーテルにほとんど溶けません。希酢酸には溶けます。炭酸リチウムは、